

財務担当役員メッセージ

Message From The Corporate Vice President In Charge Of Finance



健全な財務体質を維持し 競争優位性を高める成長投資と 連続増配による株主還元を 強化します

取締役 常務執行役員
事業管理本部長
吉沢 勲

○ 資本政策の基本方針

資本政策については、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目的として、成長投資とリスクを許容できる株主資本の水準を維持すること及び安定的・継続的な株主還元を実施することを基本方針としています。

資本と負債については、安全性と効率性の観点から最適化を図ります。

先進技術や事業機会を機動的にとらえた投資を実現するための資金調達に向けて、健全な財務体質を目指します。

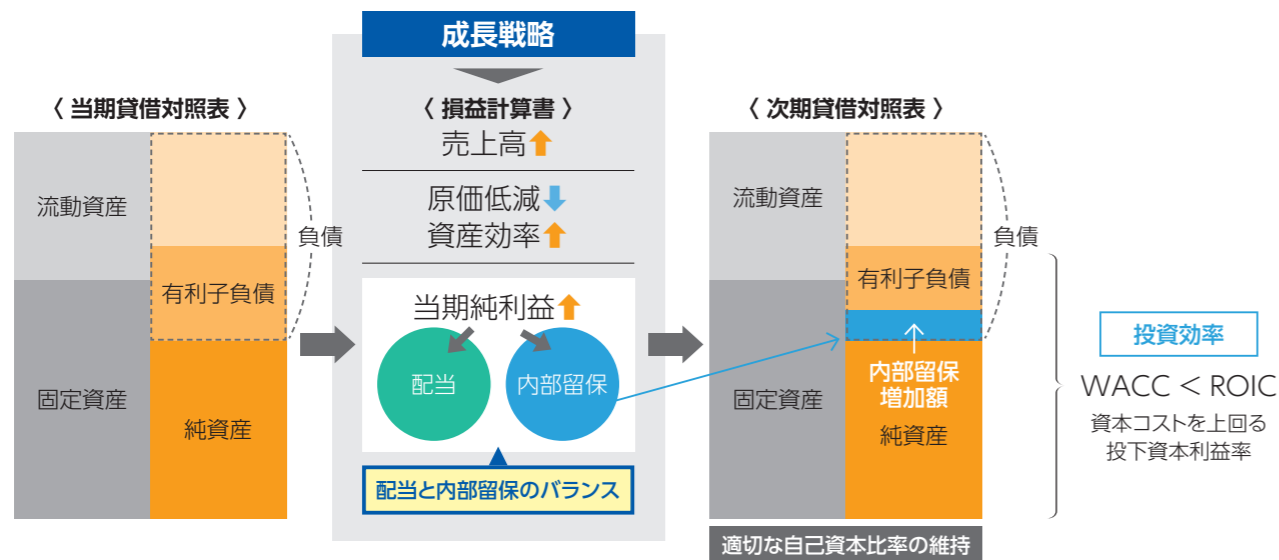
○ 事業成長を支える財務運営

自動車業界は、大転換期を迎えており、当社は環境・安全のため軽量で高剛性な車体の開発に取り組むことで車体専門メーカーとして生き残りをかけた競争に挑んでいます。

■ 売上高と利益の成長

成長戦略に基づき売上高の拡大を図り、原価低減や固定資産・棚卸資産の効率性を高め、当期純利益の増加を図ります。

KPI: 売上高営業利益率、ROA総資産利益率



■ 投資効率

次世代車体部品の開発・製造のための投資を積極的に進めるため、資本コストを意識した効率的な投資を行い、投資額はEBITDAを原則上限にします。

KPI: WACC (加重平均資本コスト) (4.94%*)
<ROIC (投下資本利益率)
EBITDA (償却前営業利益)

■ 健全な財務体質

自動車業界の動向に機敏に対応し、機動的かつ積極的な投資を可能とする借入余力を確保します。そのため、適切な利益配分により自己資本比率を維持します。

KPI: 自己資本比率、ネットD/ELレシオ

*当社推定

○ 株主還元について

利益配分は、成長のため適切な自己資本を維持する内部留保の積み増しと、利益成長を反映した増配の維持をバランスよく行っていきます。

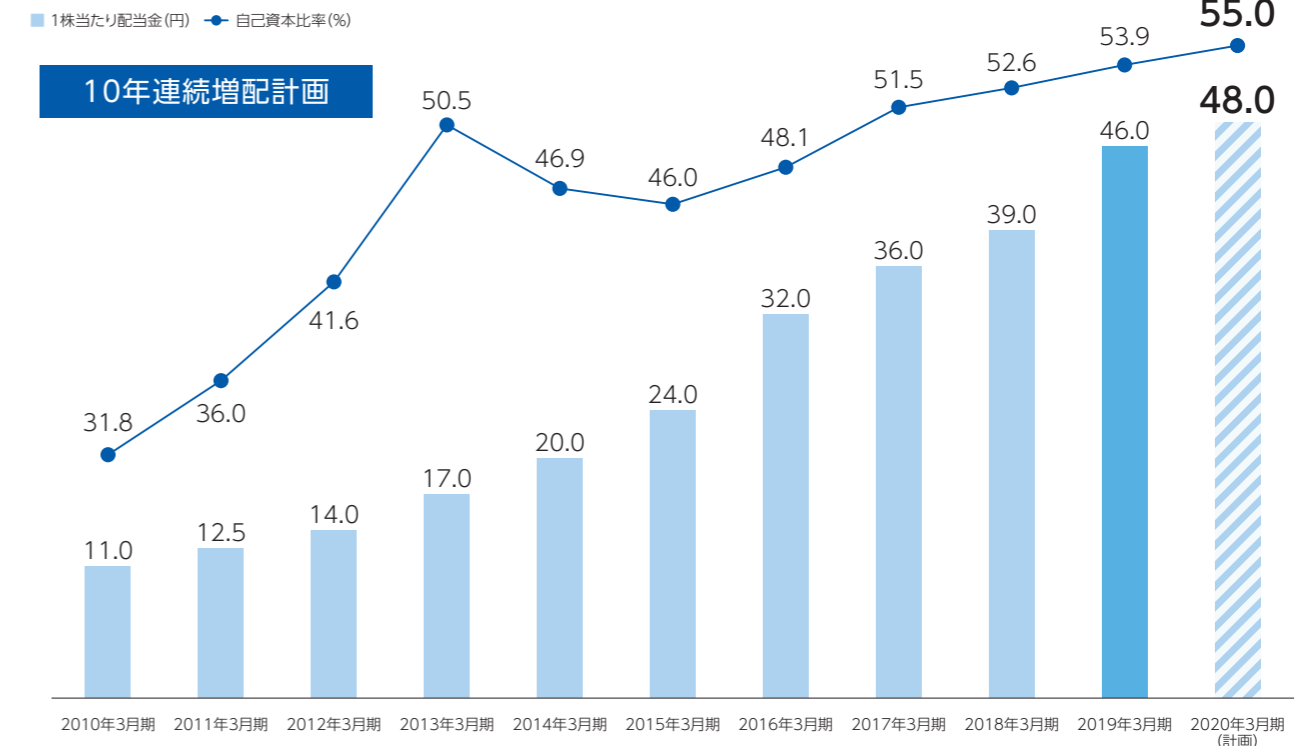
自動車産業は景気サイクル影響を受けるため一律の配

当性向は目標に掲げていませんが、2019年3月期まで9期連続で増配を実施しており、今後も増配の継続を目指していきます。

■ 財務のKPI

	ROE	ROA	ROIC	ネット D/ELレシオ	自己資本比率
2019年3月期実績	8.7%	7.7%	7.06%	0.19	53.9%
過去5年平均	8.0%	6.1%	5.58%	0.39	50.4%

1株当たり配当金と自己資本比率の推移



(注1) 2014年4月に1:2の株式分割を行っており、配当金額は株式分割調整を反映しています。
(注2) 2011年3月以前は菊池プレス工業の数値です。